



同窓会報

愛知県立
一宮興道高等学校
〒491-0924
愛知県一宮市大和町
於保字十二1-1
TEL (0586) 46-0221
FAX (0586) 43-4457

日頃、同窓会員の皆様方には同窓会活動に格別な御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この同窓会も昭和六十一年に第一回入会式を行って以来、本年二月二十七日に第十三回生を仲間を迎えることで、約六千人をかかえる組織となりました。

今年で十三年目を迎える同窓会ですが、平成七年度に十周年を迎え、「マリエール一宮」を会場に「十周年記念総会」を開催。これを機に、総会を三年に一度の開催に変更しました。今年の八月が第十一回同窓会総会の開催年となります。会報第二号には総会の案内や内容が記述されておりますので、主旨を理解していただき、多数の参加をお待ちしております。同窓会総会とは、苦楽をともにした仲間やお世話になった恩師との貴重なふれあいの場です。また卒業後、皆様方は全国各地でその力量を発揮されることと存じます。なかなかこの仲間がそろうという機会も、年々なくなっていくます。この私も、本校を卒業をして今年で



第十一回総会にあたり

一宮興道高等学校同窓会会長
高沢秀昭

十二年目になります。年月も経ち、距離も離れているために連絡が取れない仲間もいます。だからこそ、もう一度会って昔話をしたいという気持ち強く持っています。卒業したての会員の皆様にはそのような気持ちはまだわいてこないことでしょう。しかし、仲間の顔が見れる総会には三年に一度しかやつてこないのです。昔話に話を咲かせる場にご活用ください。よろしくお願いいたします。

今年、長野を舞台にオリンピックが行われました。日本中に感動を与えた原田選手の活躍は、まだ記憶に新しいところだと思えます。幾多の試練にも負けず、それを乗り越え、自分の限界に挑戦し、骨折覚悟で跳び、そして金メダルに輝きました。そのインタビューを見た時、私も涙ぐんでしまいました。きっと私たちに見えないところでの努力や苦労があったことと思えます。また、思うような結果が残せず悔し涙を流した堀井選手。このオリンピックでは、「男の涙」にジーンとさせられました。戦う男の涙はいいものですね。人前で涙を見せることは、恥ずかしいと思

がちですが、それぞれの思いがあり、精一杯努力してきたからこそそこから涙を流すことができるのだと思います。今の時代は、無関心や無感動な人が多くなったといわれます。ですからこそ、会員の皆様には、「大いに笑い」「楽しみ」「時には涙を流す」、そんな感動できる人生を送ってほしいと思います。また、同窓会の活動が、皆様の生活に潤いを与えることができるまでに組織が発展し、充実したものになることを願っております。そのためには、会員一人一人の御協力・御理解が必要となります。総会開催年には会報を発行します。また理事会では来たる二十周年に向けて動き出そうとしております。今後の活動に関心をもつていただくとともに、ご意見やご要望も寄せていただければと思います。同窓会は会員でつくる組織です。

皆様方の周りには、仲間やお世話になった恩師、そして数多くの先輩がいます。連絡をとり合い、「同窓生の輪」を広げていきましょう。最後に、皆さんのご健勝とご活躍をお祈り申し上げて、挨拶とさせていただきます。



同窓会報に寄せて

校長
村山 諄 司

本会報の第一号が創刊されましたのは平成九年三月一日でありましたので、会員の皆様へのご挨拶が大変遅くなりましたが、私は、その年の四月一日付けで、本校第五代校長に補せられました村山と申します。この度同窓会報第二号が発行されるにあたりまして、「一言」挨拶申し上げます。本稿を起すにあたり、同窓会報第一号を拝見いたしましたところ、同窓会長の高沢秀昭さんが、「卒業生と母校を結ぶパイプ役」として会報を発行する旨を巻頭言で述べられ、また「会報創刊のお祝い」として、先代の宮本武司校長先生が、会報は「会員の皆様の情報や教職員の動静、母校の現状報告などを通じて、会員の皆様一人一人の心をつなぐ絆となる」と期待されております。第二号も、同窓会報編集委員会の皆様のご努力により、そのような目的に充分かなったものとなっております。お喜び申しあげます。

また、同窓会会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に数々のお力添えをいただいておりますが、特に、昨年度は、鈴鹿市で実施された第四十四回東海高等学校総合体育大会水泳競技会に水泳部が出場する際や、盛岡市で行われた第五十三回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会に一年生の男子生徒が参加するに当たり、活動費を援助していただくなど、物心両面でののお力添えをいただきました。紙面をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。

さて、私たちは、ある時は「官」と「民」、また別の場面では「公」と「私」の区別を半ば無意識的につけながら活動をしています。今仮に、縦軸を「官」「民」、横軸を「公」「私」とする座標を考えてみますと、学校は第一象限に、同窓会は第四象限に存在します。ところで、今年の四月、金融市場の規制が大幅に緩和され、金融界はいわゆるビッグバンの時代を迎えました。規制緩和というのは、第一象限にあるものが第四象限にその位置を移すということでもあります。インターネットの発達も、情報通信分野の「第四象限化」を示していると言えます。この「な規制緩和

の波が必ずや学校にも押し寄せてくるであろう時代においては、学校と同窓会の関係も従来とは違ったものになっている可能性があります。具体的には、在校生と卒業生という垣根は今より随分と低くなり、そのことで、同窓会は過ぎ去った昔を懐かしむだけではなく、リアルタイムに母校への働きかけを行う組織として、よりその機能を充実させていただく必要があると考えられます。今回の同窓会報第二号の発行や、本年八月に実施されます同窓会総会が、新時代に即応した同窓会への一つの重要なステップになることを祈念する次第であります。

終わりになりましたが、同窓会会員の皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶の言葉とさせていただきます。



「興道」という名は、明治から昭和にかけて、当時の大和村（現在の一宮市大和町）にあった尋常高等小学校名で、「漢書」の「司馬相如伝」にある「莽然として道を興し、義を還す」の引用です。本校では、球技大会、体育大会、文化週間など、多くの高校で行われている行事がある一方で、情操を育てるといふ観点から、華道実習を行っています。一年生全員が、交代で花を活け、どの教室にも一年中花が飾られています。

また、毎年九月に「文化行事」として、古典芸能、音楽、演劇などの鑑賞を行っている、創立十五年目の今年、劇団四季の「オペラ座の怪人」を鑑賞することにになりました。事前には十分な学習をして出かけた訳ではないのですが、生徒の反応はすばらしく良く、帰りの電車の中でも、瞳を輝かせ、語り合っている姿に「怪人」の力を感じました。



● 特色ある活動 ●

新聞では、高齢化社会への対応、ゴミと環境、覚醒剤を含む犯罪の低年齢化、雇用制度の変化、国際化・高度情報化社会への対応などの重い課題が報じられています。どれをとっても大変な二一世紀になりそうです。そのような時代に、自らの意志と責任で、自分の「道」を主体的に「興し」、たくましく、心豊かに生きる若者に育ってもらうためにも、学校における、部活動や行事には大切な役割があります。授業時間数の確保などともバランスをとりながら、より充実した行事を組み、生徒の成長に資したいと思えます。

● 愛知県立一宮興道高等学校同窓会会計決算書 ●

【平成8年度】

1. 一般会計

(1) 収入の部

単位:円

内 訳	金 額	備 考
会 費	1,660,000	卒業生終身会費 5,000円×332(人)
繰 越 金	8,192,680	前年度繰越
雑 収 入	34,383	預金利息等
合 計	9,887,063	

(2) 支出の部

内 訳	金 額	備 考
会 議 費	5,400	理事会経費
通 信 費	7,810	切手購入
会報発行費	646,840	同窓会報発行
慶 弔 費	121,840	職員弔事及び記念品料
周年事業基金	1,059,000	周年事業基金会計繰入
合 計	1,840,890	

(3) 収支の部

収入済額	支出済額	差引残額	備 考
9,887,063	1,840,890	8,046,173	翌年度繰越

2. 周年事業基金会計

本年度基金額	雑 収 入	本年度末基金額	備 考
1,059,000	0	1,059,000	基金総額(H7.8.2締分)

【平成9年度】

1. 一般会計

(1) 収入の部

単位:円

内 訳	金 額	備 考
会 費	1,580,000	卒業生終身会費 5,000円×316(人)
繰 越 金	8,046,173	前年度繰越
雑 収 入	46,703	預金利息等
合 計	9,672,876	

(2) 支出の部

内 訳	金 額	備 考
会 議 費	14,025	理事会経費
事 務 費	52,500	同窓会名簿メンテナンス料
慶 弔 費	223,850	職員弔事及び転退職記念品料
周年事業基金	474,000	周年事業基金会計繰入
合 計	764,375	

(3) 収支の部

収入済額	支出済額	差引残額	備 考
9,672,876	764,375	8,908,501	翌年度繰越

2. 周年事業基金会計

本年度末基金額	本年度繰入額	雑 収 入	本年度末基金額	備 考
1,059,000	474,000	3,017	1,536,017	基金総額

校長	宮本 武司	尾張学園
教頭	中森 勇(英語)	西尾東高(教頭)
教諭	井手 政巳(国語)	平和高
教諭	日比野健司(地公)	尾西高
教諭	河合 正昌(数学)	新川高
教諭	松岡 利幸(理科)	木曾川高
教諭	可児 喜子(理科)	新川高(教頭)
教諭	若山 正芳(理科)	内海高(篠島分校)
教諭	鈴木 正信(保体)	定年退職
教諭	川島美江子(保体)	退 職
教諭	今枝 淳(英語)	一宮北高
教諭	渡邊 真理(英語)	津島高
教諭	森 雅道(英語)	定年退職
教諭	伊藤 勝俊(英語)	小牧南高
事務長	林 鑒	朝宮公園
行政	野田のり子(主任)	五条高

▼転退職された先生方▲

計 報

第2代校長

日比紫朗先生

(享年67才)

3月29日

午前0時56分

3月31日

午後1時より

良満寺(自宅)

にて葬儀

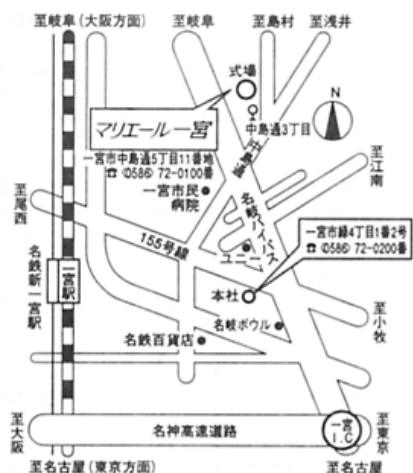
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編 集 後 記

同窓生の皆様とともに、今後も会報の内容を充実させていきたいと思っております。ご意見等をお寄せください。

第11回

同窓会総会案内



□ 日 時 平成10年8月2日(日)
午前11:00より

□ 場 所 マリエール一宮
一宮市中島通り5-11
Tel 0586-72-0100

□ 会 費 2,000円

(送迎バス時刻)

集合場所 JR一宮駅東オーシマ前
①10:00発 ②10:45発

豪華賞品が当たる楽しいゲーム大会も予定しています。ふるってご参加ください。

※お手数ですが、出欠については同封の葉書で6月30日までに返信ください。